



# 栗原小だより

～学校教育目標～  
よく考え学ぶ子  
心のゆたかな子  
たくましい子

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <https://e-kurihara-c-niiza.edumap.jp/>



令和7年度5月号  
令和7年4月30日

## 「私は給食が好きである」

校長 古澤 健史

### 【安心・安全でおいしくて楽しい給食】

令和7年度が始まってから、一ヶ月が経とうとしています。各ご家庭でのお子さんの様子はいかがでしょうか。

班長さんを中心に、下級生の様子を気遣い、上級生は意識してゆっくり、時に手をつないで歩いている登校風景が見られました。そして、第五中の生徒も笑顔で懐かしそうにこちらにあいさつをしてくれます。

最近、動画配信のサブスクリプションを利用して、『おいしい給食』というドラマを見ています。舞台は1980年代の学校、給食に愛がある故にそれを愛せない人を許せない「給食絶対主義者」の中学校教師と給食に愛がある故に、いきすぎた工夫をして給食を食べようとす生徒が、どちらが給食を「おいしく食べるか」の闘いを繰り広げます。

自分の子供時代にはあったが、今はなくなってしまった給食メニューへの懐かしさや給食を楽しみに学校に通っていた記憶、その一方で様々な理由で給食が苦手で悩みだった友達がいたことなどが思い出されました。多くの子どもたちが、給食を楽しみにしている一方で、給食を全部食べ終えるまで休み時間にしてもらえず、ずっと給食を前にして暗い表情で座っていた友達がいました。

あの指導は絶対におかしい、そう思っていた子供たちが教師になり、学校からそのような指導がなくなっていったのかもしれませんが。一方で食べ物を無駄にしてはいけないこと、作ってくれた人や食べるために奪った命に感謝することも大切にされています。「食べられる分だけに減らしているよ」「一口だけ（少しだけ）挑戦して、ダメだったら残しているよ」という指導が今はされています。

1年生も給食が始まりました。学校応援団の給食・清掃補助活動に保護者の

方々に多くの参加をいただき、ありがとうございました。1年生の子どもたちは、おいしく楽しく給食を食べることができています。学校応援団のこの活動以外に、栗原小の給食を食べられる機会があります。今後給食の試食会も予定しておりますので、ぜひご応募ください。

給食の持つ魅力の一つに、食べたことのない食材や料理に接することができるということがあります。関西からの転校生の友人が、納豆を食べて「こんなうまいものがあるのか」と驚いていたのを覚えています。家では両親の好みや出身地等で食卓にあがることのない料理に出あえる貴重な機会かもしれません。

今ではアレルギー等の心配もあり、友達の家でご飯をよばれる機会も少なくなっただけかもしれません。私も子供時代に、友達の家味噌汁に煮干しが入っていたこと（うちは鰹節で出汁を取っていた）や麦茶に砂糖が入っていたことにカルチャーショックを受けました。また、友達の家で飲んだコーンスープがおいしかったと話したところ、母が友達のお母さんにレシピを聞いて家で作ってくれたことや友達にお前が家に来るといつも母親がコーンスープを作って飽きたと言っていたことを思い出します。

さて、3月26日に栗原1丁目の集会所で子ども食堂が開かれ、教頭と参加させていただきました。昨年度まで本校の学校運営協議会の委員をしていただいた榎本米子さんたちを中心に、コロナ禍を経て久しぶりの開催とのことでした。給食では絶対に出せない熱々のカレー（給食は配膳でも火傷しないように冷ましてある）と手作りのマスカットのゼリーが振舞われ、子供も大人もおいしく楽しくいただきました。ありがとうございました。みんなで食べる食事には、いつも大切なことを教えてもらいます。